

抜本的な災害対応をやるべき時期に来ている

共産党・志位委員長が指摘

日本共産党の志位和夫委員長は9月6日、記者会見し、台風21号被害や北海道地震での被災者救援・支援に全力をあげつつ、異常気象への対応、地震・津波対策の両面で、従来の延長線上にとどまらない抜本的な防災対応に、党派を超えてとりくむことが必要な時期に来ていると述べました。



異常気象——これまでの延長線上にとどまらない対策が必要

日本が防災面で抜本的な対応をやらなければいけない非常に重大な時期に来ていると思います。一つは異常気象の問題です。今年は豪雨災害、台風災害が相次ぎ、非常に深刻な被害が出ました。災害級と言われた猛暑の問題もあり被害が出ています。

明らかに地球環境の異変、気候変動が根っこに働いていると思います。一連の災害が起きている。これに対し、これまでの延長線上ではない、一連の対策が求められると強く感じています。

地震被害——日本列島が非常に不安定な時期に来ていることは明らか

地震という点でも日本列島が非常に不安定な状況に入りつつあると感じます。すでにおそろべき被害想定も出ています。

気候変動、地震の両面で、政治が知恵と力を尽くしていくことが、党派の違いを超えて必要な時期に来ていると考えています。

復興・防災のため臨時国会を——募金活動で志位氏訴え

9月7日新宿駅での救援募金活動で志位氏は「臨時国会を早期に召集し、復旧・復興のための緊急の対応を行うことを野党で一致して要求していきます。『復興・防災国会』をすみやかに開き、国会として積極的な仕事をしていくことが必要です」と訴えました。



救援募金にご協力を!!

台風21号被害、北海道地震で犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、被災者に心よりお見舞いを申し上げます。日本共産党は、国会議員を先頭に、被災者支援に全力をあげています。救援募金にも取り組んでいます。ぜひご協力をお願いします。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子

日本共産党



募金などのご連絡は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年9月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可